

10 「道徳教育通信」を改善し新しい通信を作成しました

先生方から出された課題や要望をもとに「道徳教育通信」の改善に取り組みました。

まず、「道徳教育通信」というタイトルは、読みに手に難しいイメージを与えるので変えてみました。新しいタイトルは「道徳の授業を改善する50のヒント」です。

「50のヒント」ですから先の「道徳教育通信」より、10枚多くして全部で50枚の通信にしました。

左図と次ページ以降がその一部です。

タイトルばかりではなく内容も授業で直接使えるものや最新の情報を取り入れて、より先生方のニーズに合うものになるよう努めました。

ヒント38

道徳の授業を改善する50のヒント

マンガを資料に活用しよう

子どもたちにとってマンガは身近に感じられ、マンガを使った学習には意欲的に取り組みます。最近の道徳副読本にも、マンガを使った資料が多く掲載されるようになってきました。マンガを道徳の授業に有効に活用していきたいものです。道徳の資料になるマンガやその活用について紹介します。

きみの思いを声にして 三枝義浩 作 (講談社コミックス)

文部省の道徳教育推進指導資料(指導の手引)5「真理や学ぶことを愛する心を育てる」に、「きみの声が聞きたい」という資料が掲載されています。その資料は、回復が困難とされていた看護婦の実話をもとにしたものです。文部省の資料は読み物資料として掲載されていますが、同じ内容をマンガにしたのがこの作品です。資料の中の価値は創意工夫、生命尊重等が考えられますが、文部省の読み物資料と併用して、このマンガを授業に活用すれば、一層深まりのある授業になると思います。なお、この資料の主人公の看護婦さんは紙屋克子さんという方で、「私の看護ノート」(医学書院)という著書を出版していますので、合わせて参考してください。



地球の秘密 坪田愛華 作 (地球環境平和財団)

作者の坪田愛華さんは、このマンガを作成した当時、小学校6年生でした。国語の課題を環境マンガとして描き上げたものです。彼女は、このマンガを仕上げた直後、突然の脳内出血で亡くなってしまいました。そのマンガの内容、技術が高く、全国で紹介されて大反響になりました。坪田さんの生涯は、道徳の副読本(東京書籍6年)、「心があつたかくなる話4年生(ポプラ社)、ビデオ「愛華ちゃんの地球」(日本コロムビア)等で紹介されています。このマンガと併用して自然環境、生命尊重等をねらいとした授業を展開できます。



レスク 園山俊二 作 (朝日新聞、1990年4月24日夕刊掲載)

新聞の4コママンガの中には道徳の資料になるものもあります。「授業づくりアイデア全書・道徳」(個性教育研究会編)に、この資料を使った授業の展開が紹介されています。1コマから子どもたちと登場人物や内容について話し合い、最後の4コマ目は、提示しないで子どもたちに考えさせる等の工夫をして、道徳的な価値を学習することができます。



11 研究協力校で活用実践を試みました

作成した「道徳の授業を改善する50のヒント」を実際に発行して、どのような効果があったか調べてみました。発行は、1週間に2回のペースで行いました。活用実践の結果、アンケートには次のような自由記述が記載されました。

- ヒント一つに対してA4判1枚にまとめられているので、短時間で読める。
- 通信が配付された時、道徳について自然と話題になった。
- 普段の授業について振り返ることができた。
- 読んでいて涙の流れる資料もあり、自己の心の在り方を見直すことができた。
- 話し合いの工夫、役割演技など授業の改善に役立つものが数多くあった。
- 「やってみようかな」と思える内容、実践例があり参考になった。
- 実践やアンケート調査などを掲載していくとさらにより通信になるのではないかと。

道徳教育はますます重要性を増してきています。その要となる道徳の時間、道徳の授業の改善が求められています。道徳の研修について学校全体の問題として受けとめ、授業改善に意欲を持って取り組むことが今、求められているのではないのでしょうか。